ACE SYSTEM:

2023 年度 環境経営レポート

（対象期間:　2023 年 6月1日 ～ 2024 年 5月 31日）

®環境省
エコアクション21
認証番号 0009955

発行日:　2024年10月20日

目　　次

1:環境経営方針

2:組織の概要

3:事業・製品の紹介

4:環境経営組織図及び役割・責任・権限表

5:主な環境負荷の実績

6:環境経営目標及びその実績

7:環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

8:環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果,
並びに違反, 訴訟等の有無

9:代表者による全体の評価と見直し・指示

1:環境経営方針

＜環境経営理念＞

当社は『新しい常識をつくります』を私たちの信念とし、妥協しない物づくりに取り組んでいます。また環境問題についても永遠のテーマと捉え、持続可能な環境保全活動に取り組み、お客様をはじめステークホルダーの皆様と共に継続的なイノベーションを図り環境に配慮したスパイラルな製品造りに邁進して参ります。

＜環境保全への行動指針＞

1. 環境負荷の低減及び環境改善を図るために、次の項目について取組みます。
   ①電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
   ②廃棄物排出抑制、リサイクルと適正処理の推進
   ③水資源の有効活用と節水
   ④サプライチェーン上での省エネ・省資源への取り組み
   ⑤グリーン購入の促進
   ⑥太陽光発電による、二酸化炭素排出量抑制支援

２． 環境関連法規則や当社が約束したことを順守します。

３． 環境経営方針を全従業員で取組み、周知徹底します。

制定日：2012年4月1日
改定日：2021年6月1日

代表取締役　**佐古 圭弘**

2：組織の概要

更新日：2022年4月1日

（1）　名称及び代表者名
エースシステム株式会社
代表取締役　佐古　圭弘

（2）　所在地

本社・工場	大阪府和泉市あゆみ野3-1-3
関東支店	東京都板橋区蓮根3丁目21-7（2023年1月移転）
開発センター	大阪府和泉市あゆみ野2-6-3（2023年11月移転）
九州支店	福岡県福岡市博多区東那珂1-6-23

（3）　環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	総務部	藤原　普美	TEL：0725－54－3958
担当者	総務部	濱田　莉乃	TEL：0725－54－3958
	生産部	手嶋　錬	

（4）　事業内容
連続蒸気炊飯機、各種省力機、各種自動制御装置の設計・製作及び販売、太陽光発電

（5）　事業の規模
売上高　187,297 万円

	本社・工場	関東支店	開発センター	九州支店	合計
従業員　名	35名	10名	22名	3名	70名
延べ床面積　㎡	880㎡	138㎡	255㎡	126㎡	1,273㎡

（6）　事業年度　6 月 1 日 ～ 5 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

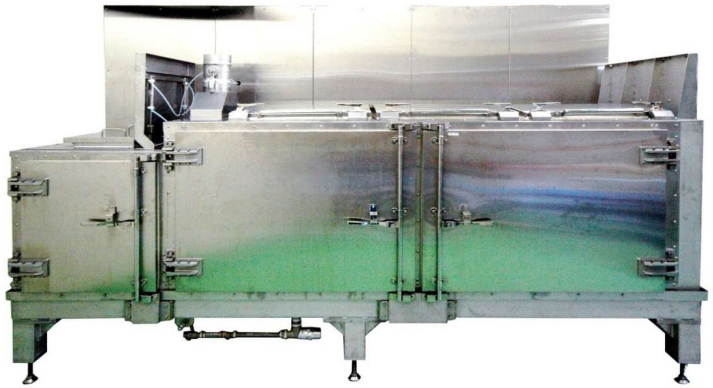
登録組織名：　エースシステム株式会社

対象事業所：　本社・工場
関東支店
開発センター
九州支店

活動：　連続蒸気炊飯機、各種省力機、各種自動制御装置の設計・製作及び販売、太陽光発電

3:事業・製品の紹介

連続蒸気炊飯システム　SRM1-125



各種ミールキット・カップごはんのメニュー開発

マルチスチームクッカー(MSC)

スチームクッカーの特徴

高カロリー過熱水蒸気による蒸し加工

過熱水蒸気による蒸し加工は、煮加工や通常の蒸し加工に比べて時間短縮が可能です。また、複数種の野菜を色・味移りすることなく同時加熱できるため、作業効率の向上に繋がります。

低酸素環境での加工

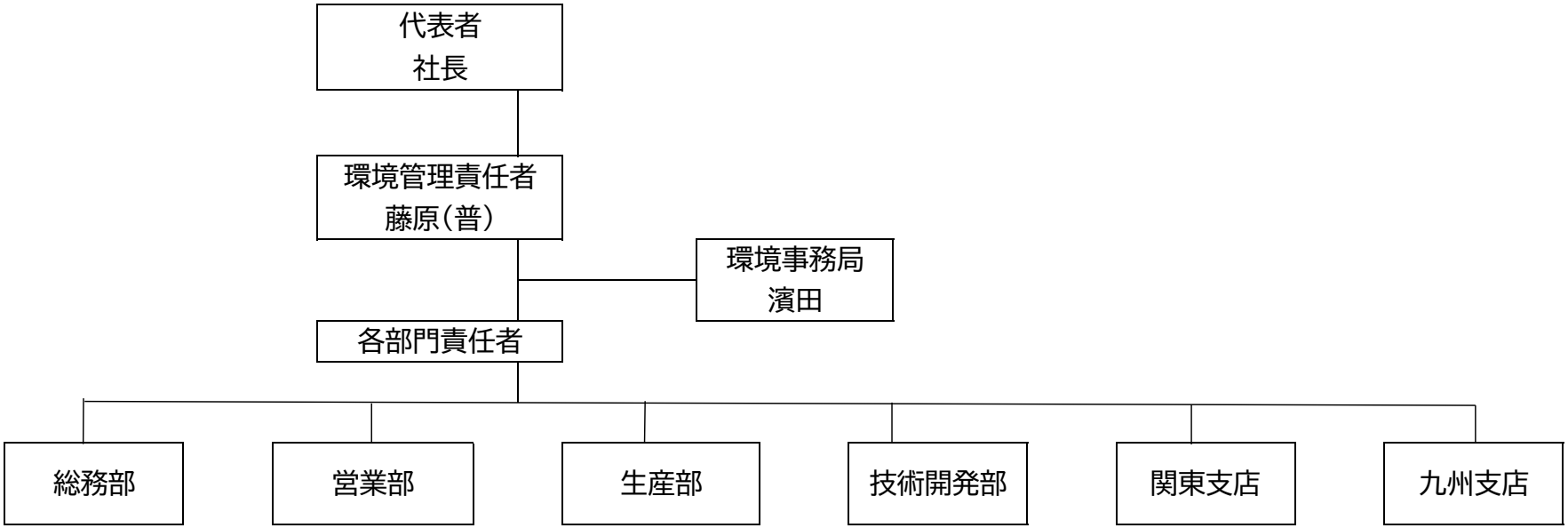
加工時の酸化を抑えることで、緑黄色野菜を色鮮やかに仕上げます。さらに、食材の栄養成分の流出を抑え保持することが可能です。（原料による差異があります）

コストの抑制

省スペース設計で、中規模の厨房・セントラルキッチンにぴったりサイズ。また省エネ性にも優れ、ランニングコストやイニシャルコストを抑制できます。

4：環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2024年4月1日



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示
	・環境経営レポートの承認

環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、各部門責任者の事務局
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付）
各部門責任者	・環境経営計画の審議
	・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
	・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	・試行・訓練を実施、記録の作成
	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5:主な環境負荷の実績（2023年度）

項　目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	127,195	111,725	106,202
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	8,052	6,314	6,525
産業廃棄物排出量	kg	0	0	0
水使用量	㎥	2,871	1,534	1,734

※二酸化炭素排出係数　　0.351 kg-CO2/kWh　　関西電力2020年度調整後の係数

6:2023年度環境経営目標及びその実績

※2023年度は2023年6月1日から2024年5月31日までです。

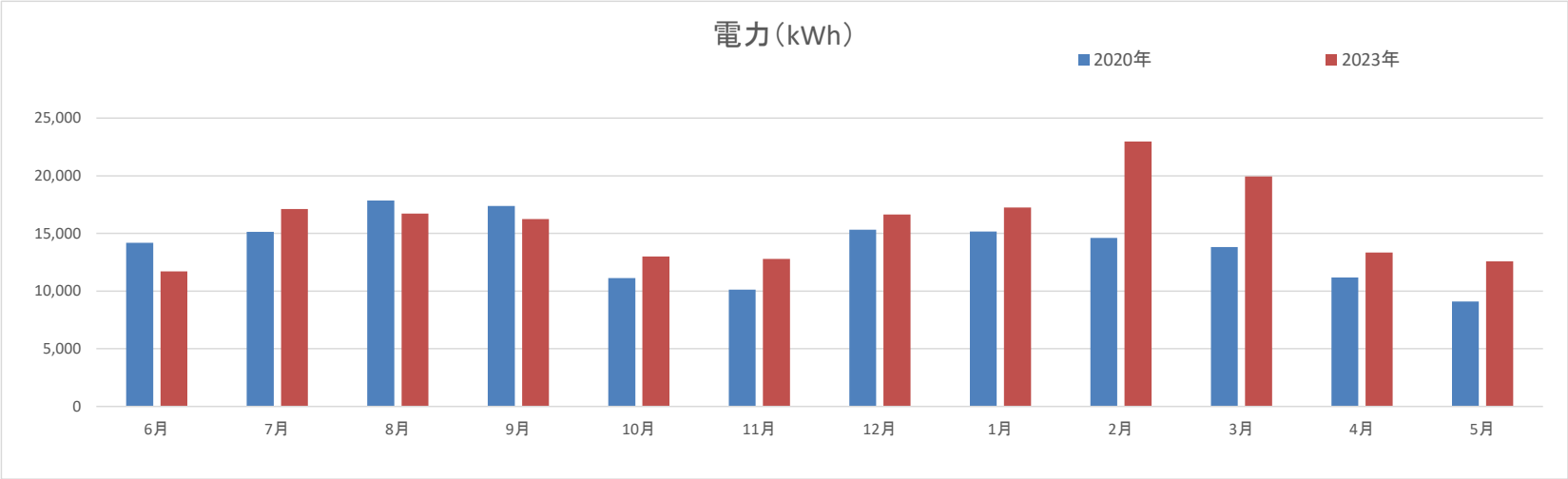
項目 ＼ 年度		基準値	2023年度		評価	2024年度	2025年度
		（基準年）	（目標）	（実績）		（目標）	（目標）
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	57,904	56,746	66,770	×	55,588	55,009
	基準年度比	2020年	98%	115%		96%	95%
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO2	49,668	47,681	7,166	○	47,681	47,185
	基準年度比	2020年	96%	14%		96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	20,650	20,030	16,496	○	19,824	19,617
	基準年度比	2020年	97%	80%		96%	95%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	128,222	124,458	90,432	○	123,093	121,811
一般廃棄物の削減	kg	6,314	6,061	6,525	×	5,998	5,935
	基準年度比	2020年	96%	103%		95%	94%
水道水の削減	㎥	2,007	1,907	1,734	○	1,867	1,806
	基準年度比	2020年	95%	86%		93%	90%
環境に配慮した生産活動	行動目標（次項による）						

＊なお、PRTR法対象のフッ化水素については、品質管理上削減できないので、適正管理に努めている。また、使用している表面処理施設は市の指導のもとで、整備を完了。

7:環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

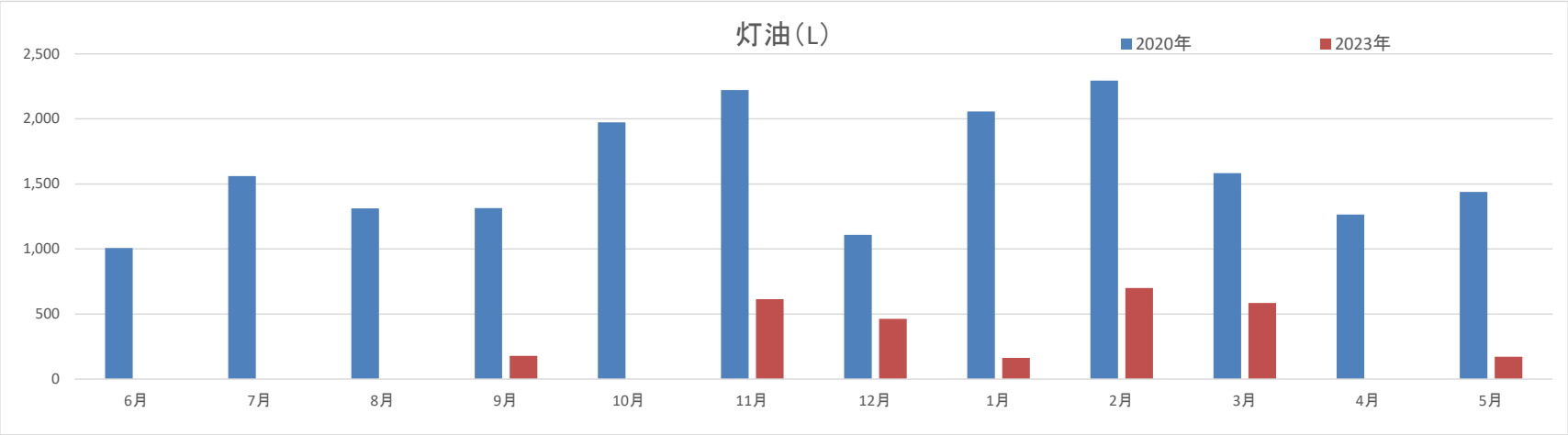
数値目標:〇達成　×未達成
活動:◎よくできた　〇まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	基準年度に比べて15%の使用量増加となったが、灯油ボイラーの電気式ボイラ―への更新の影響もあり、灯油の使用量が大幅に削減で生きているので、効率は上がっている。 基準年度比15%増となったが、会社としての二酸化炭素排出量削減に寄与できている。 次年度も炊飯装置の稼働状況と合わせて、使用量削減に取り組む。
・原則エアコンのon/offは終日動かさない	〇	
・省電の広告掲示	〇	
・実績値のグラフ化	〇	
・エアコンの温度管理	〇	



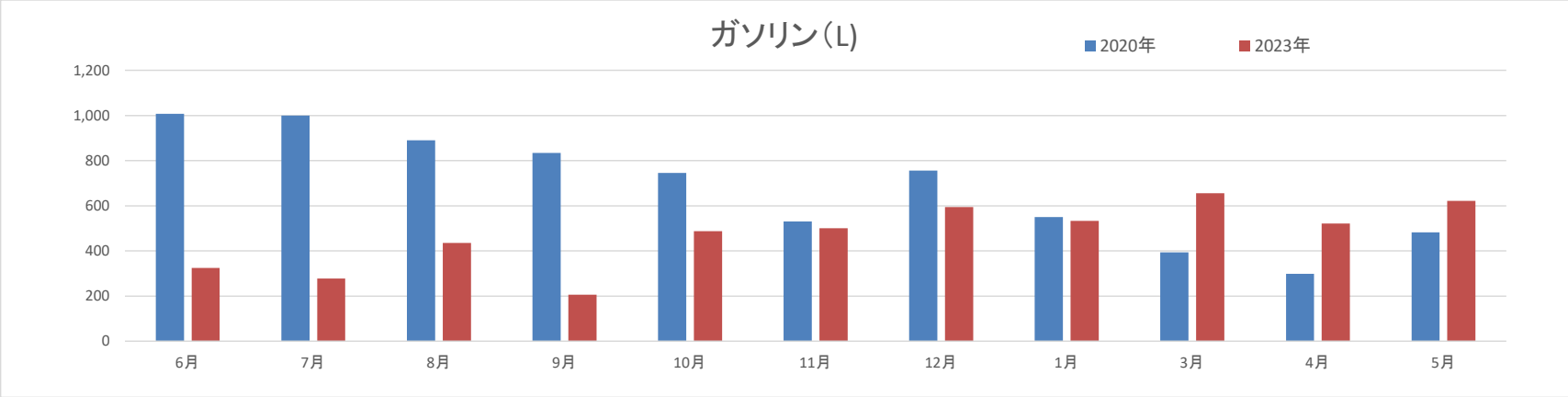
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2020年	14,178	15,143	17,852	17,381	11,119	10,116	15,315	15,166	14,605	13,810	11,183	9,101
2023年	11,701	17,111	16,711	16,238	13,002	12,776	16,635	17,235	22,966	19,935	13,349	12,569

灯油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	昨年度、灯油式ボイラーを電気式に更新したため従来の15%程度の使用量となっている
・ボイラ・加熱炉の空気比	○	
・蒸気・温水配管の保温修理	○	
・温水温度の適正化	○	

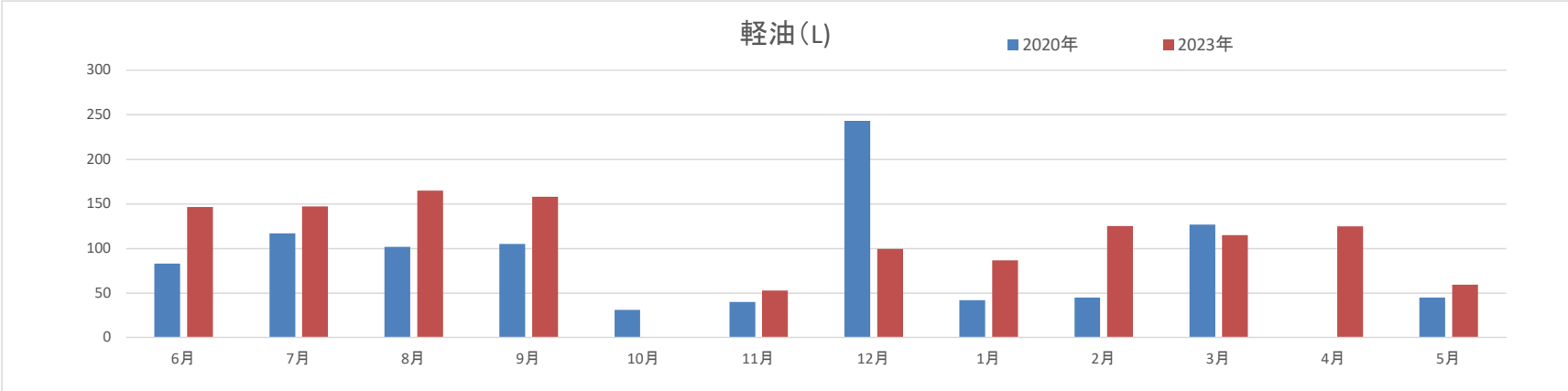


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2020年	1,007	1,560	1,313	1,315	1,974	2,223	1,110	2,057	2,295	1,584	1,264	1,439
2023年	0	0	0	178	0	614	463	164	701	586	0	172

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	商品サンプルを持参する場合の移動においては、公共交通機関の利用が難しい場面もあり、結果として社用車の使用頻度が多くなったものの、目標値は達成することができた。全体としてはガソリンが減少し、軽油の増加が見られた。引き続き環境活動の促進を続けていく。
・アイドリングストップ	○	
・渋滞を事前予測し、燃費の良い運転	○	
・対面の必要性のない営業は原則リモートとする	○	

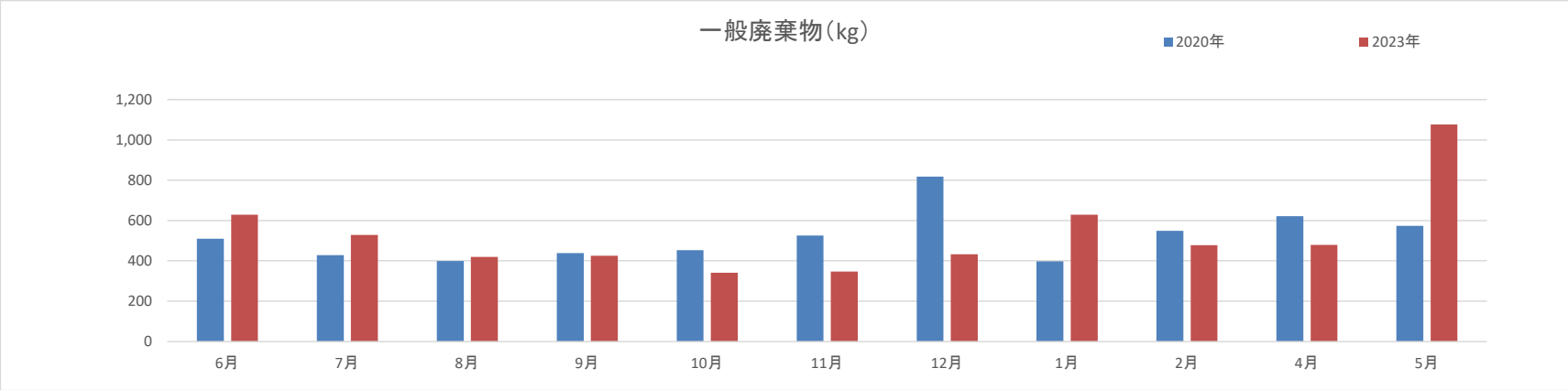


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2020年	1,007	999	890	834	745	530	756	550	325	394	299	482
2023年	325	278	435	206	487	500	594	533	530	656	521	621



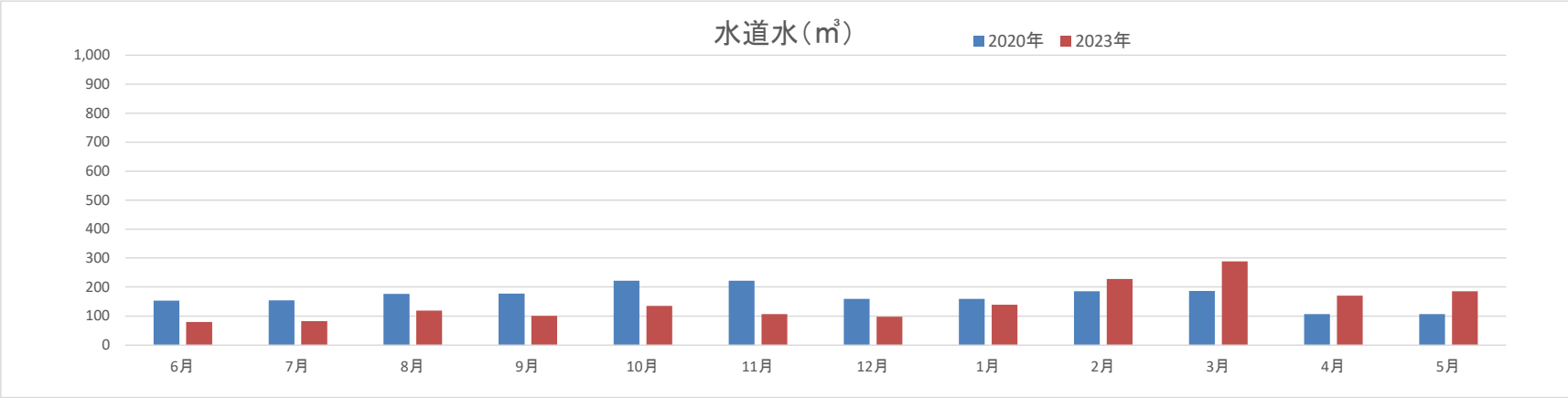
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2020年	83	117	102	105	31	40	243	42	45	127	0	45
2023年	147	147	165	158	0	53	99	87	125	115	125	60

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	前年度+3%の排出量増加となってしまった。 出荷前炊飯テストや海外顧客の来訪など、定常状態では 排出を考慮しない部分において、ゴミの排出が嵩んだ。 今回は目標値を-25kg/mとしたが、現状ではかなり高いハードルであった事が確認された為、次回以降は-20~23kg/mを目標として、先ずは総排出量の漸減傾向を作る事に努める。
・分別の徹底	○	
・大容量パック/詰め替え用などに変更	×	
・タオル/ハンカチなどの持参を促し、紙布巾の使用削除	○	
・排出量を週次でグラフ化し、目標達成率の可視化	○	



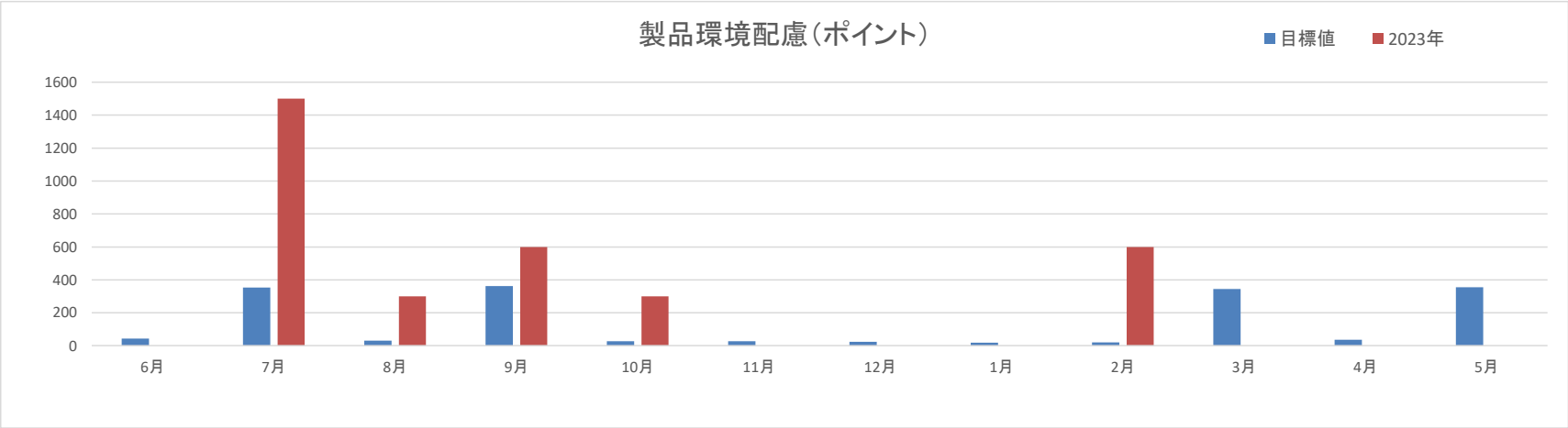
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2020年	509	428	399	438	453	526	818	397	549	602	622	573
2023年	629	528	419	426	341	347	433	629	477	741	479	1,076

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	今期は、業績拡大に伴う炊飯試験の増加と新開発C移転があり、 水道を利用する場面は多かった。 来期では、新開発Cでの調整は落ち着く事が想定されるので、使用量は減少すると見込まれる。
・流量調整	○	
・節水マニュアルポスターの掲示	○	
・炊飯テスト時における使用水量の把握	×	
・水を小分けにして使用可能量の意識付け	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2020年	153	154	176	177	222	222	159	159	185	186	107	107
2023年	80	83	120	101	135	107	98	139	228	288	170	185

環境に配慮した生産活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・炊飯機販売	○	コロナ禍に止まっていた案件等が軌道に乗り、順調に機械の販売を行うことができた。引き続き販売促進活動を積極的に行っていく。
・省力設計	○	
・グリーン購入の促進		



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
目標値	44	353	30	363	28	28	24	19	20	344	36	356
2023年	0	1500	300	600	300	0	0	0	600	0	0	0

※自社製品のなかで、釜炊き炊飯より省エネ性の高い蒸気炊飯機と、太陽光発電による炭酸ガス排出抑制量をポイント化（CO2、1tを1ポイントと設定）して記載することとした。

8:環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果,

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	遵守状況
廃棄物処理法	産業廃棄物(廃プラ、廃ガラス、廃油等)	○
騒音規制法	空気圧縮機、送風機	○
下水道法	特定施設届出対応中	△(手続中)
高圧ガス保安法	ボンベ類の転倒防止、40℃以下、警戒標など	○
消防法(危険物)	危険物の保管	○
PRTR法	対象化学物質の保管・使用(HF)　届出対象外	○
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫	○
顧客要求事項	品質管理	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。下水道法の特定施設については行政と調整中。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

特になし

□環境コミュニケーション記録

2023年度は7/7、11/2, 3/1の3回、地域の清掃活動に参加した。
雑草抜き時間短縮のため外構再工事を施工。外観もよく従業員の負担も削減できた。

↑地域の清掃活動に参加する様子

↑会社前外構工事完工後

9:代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年10月16日

1・弊社を取り巻く環境変化
　・21年度は20年度と同様にコロナ禍で営業活動面で制約を受け、商談の停滞・延期などが発生したが年度後半からは規制が緩和され新規ユーザからの問い合わせや海外からの商談などが積極的に出てきた。

2・弊社の商品開発と貢献
・弊社の蒸気炊飯調理システムは既存の調理機に比べ「省エネ・省スペ―ス・高度な熱効率等」の特徴があり装置を使う企業には「エコ効果」を積極的に提案し実現している。
・一般のユーザの方々へは、時短調理による時間短縮や調理エネルギーの縮小や野菜などの廃棄物の削減等弊社の装置で調理した食物で世の中に貢献している。

3・弊社のエコ環境に変化
・新規ユーザーに対して新しいメニューでのテスト炊飯が多くなり、商品評価がユーザーから繰り返し求められる様になった。
・事業拡大と合わせてエコ環境の目標値に変化が生じてきた。
・本社の灯油ボイラーを電気ボイラーに更新したので、灯油の使用量が1/5以下となり、電気の使用量は増加したがトータルの二酸化炭素排出量は大幅に削減できている。

4・弊社のエコアクションの取り組み
・弊社のエコアクション活動は7年が経過し、従業員の認識や取り組み姿勢が積極的になり事業拡大に対するエコ環境値の抑え込みが出来てきている。
・又独自の「5S活動」や「安全衛生活動」や地域に密着した「環境美化活動」等社員全員の認識が高揚し積極的な活動展開をに取り組んでいる。

環境経営方針	☑	変更なし	□	変更あり
環境経営目標・計画	☑	変更なし	□	変更あり
実施体制他	☑	変更なし	□	変更あり

代表取締役　佐古　圭弘